

この報告書は、災害教訓の継承に関する専門調査会の下に設けた小委員会において検討され、平成18年7月21日に開催された同調査会で承認されたものである。執筆は、

- (主査) 関沢 愛 東京大学大学院工学系研究科教授  
伊藤 和明 NPO法人防災情報機構会長  
井上 公夫 日本工営株式会社 コンサルタント国内事業本部技師長  
北原 糸子 神奈川大学非常勤講師  
佐竹 健治 独立行政法人 産業技術総合研究所活断層研究センター副センター長  
宍倉 正展 独立行政法人 産業技術総合研究所活断層研究センター研究員  
篠原 雅彦 総務省消防庁 消防大学校 消防研究センター研究員  
菅原 進一 東京理科大学大学院教授  
鈴木 淳 東京大学大学院人文社会系研究科助教授  
武村 雅之 鹿島建設株式会社 小堀研究室次長  
西田 幸夫 東京理科大学総合研究機構COE技術者  
翠川 三郎 東京工業大学教授  
諸井 孝文 鹿島建設株式会社 小堀研究室地震地盤研究グループ上席研究員  
若松 加寿江 独立行政法人 防災科学技術研究所川崎ラボラトリー・チームリーダー

の各委員が行い、担当は以下のとおりである。

## 第1章 被害の全体像

### 第1節 地震の発生と被害規模（諸井、武村）

- 1 9月1日正午2分前
- 2 被害総数

### 第2節 大震災の様相（諸井、武村）

- 1 建物被害
- 2 人的被害
- 3 ライフライン被害

コラム 被害数の見かけ上のくい違いー住家全潰棟数と全潰戸数ー（諸井）

コラム 関東地震の死者・行方不明者数（諸井）

コラム 臨時震災救護事務局と震災調査報告（諸井）

## 第2章 地震の発生機構

### 第1節 相模トラフの巨大地震（宍倉）

- 1 相模トラフとプレートテクトニクス
- 2 関東地震に伴う地殻変動
- 3 過去にくり返し発生した関東地震と将来の発生予測

### 第2節 関東地震の本震・余震活動（武村）

- 1 マグニチュード

- 2 震源モデルの進化
- 3 本震による各地の揺れ方
- 4 余震活動と揺れの特徴

### 第3章 地変と津波

#### 第1節 土砂災害（井上、伊藤）

- 1 土砂災害の概要と調査
- 2 神奈川県西部地域の土砂災害
- 3 神奈川県東部地域の土砂災害
- 4 房総地域の土砂災害

コラム 陸軍の震災地応急測図（井上）

コラム 『人生八十年の歩み・内田一正』（井上）

#### 第2節 地盤の液状化被害（若松）

- 1 地盤の液状化とは？
- 2 液状化被害の概要
- 3 各地の被害
- 4 液状化発生地域の地形・地質

#### 第3節 津波（佐竹）

- 1 各地の津波被害
- 2 器械的に記録された津波

### 第4章 揺れと被害

#### 第1節 関東全域の震度分布（諸井）

- 1 関東地方の地形と地質
- 2 地盤の影響

#### 第2節 東京都23区内の被害（諸井、武村）

- 1 震災当時の住環境
- 2 旧東京市内の被害状況
- 3 町丁目別の震度分布
- 4 人的被害

コラム 土蔵の話（武村）

#### 第3節 横浜市内の被害（翠川）

- 1 被害資料
- 2 木造家屋の被害分布
- 3 横浜市震災記念館

#### 第4節 耐震基準誕生史（諸井、翠川）

- 1 明治・大正期の耐震設計
- 2 大正末期の建築物と関東大震災
- 3 耐震規定の誕生
- 4 その後の耐震基準の変遷

#### 第5節 関東地震前後の地震学とその周辺（武村）

- 1 地震動観測
- 2 『震災予防調査会報告』第100号
- 3 その後の地震学

コラム 今村と大森（武村）  
コラム 幻の報告書（武村）

第5章 火災被害の実態と特徴

第1節 震災当時の都市構造や防火体制

1 震災前の東京の都市構造（菅原）  
2 震災前の防火体制と施設（鈴木）

第2節 同時多発火災の発生状況（関沢）

1 地域別の状況  
2 時刻別の出火状況  
3 出火原因別の状況

第3節 大規模火災の延焼性状と被害の分布

1 震災時の気象条件（篠原）  
2 大規模火災の延焼性状（西田、篠原）  
3 延焼性状に影響を与えた現象（飛火、火災旋風）（篠原）

第4節 火災による物的・人的損害（西田）

1 焼失施設と被害の特徴  
2 人的損害  
3 防火対策への動き

第5節 横浜市の被害（関沢、西田）

1 出火時刻および原因  
2 火災延焼状況  
3 人的被害  
4 物的被害  
5 地域別状況

コラム 火災被害の調査（西田）  
コラム 横須賀市の火災被害（西田）

おわりに（全委員、事務局）

資料編

1 参考文献一覧

関沢委員、武村委員は、報告書全体の確認を行った。

なお、事務局の担当は以下のとおりである。

（事務局）	荒木 潤一郎	内閣府（防災担当）	企画官
	山腰 裕一	内閣府（防災担当）	主査
	鈴木 崇	内閣府（防災担当）	行政実務研修員（平成18年3月まで）
	齋藤 賢一	内閣府（防災担当）	行政実務研修員（平成18年3月まで）
	浦川 稔弘	内閣府（防災担当）	行政実務研修員（平成18年3月まで）

平成18年7月  
内閣府政策統括官（防災担当）

本報告書のとりまとめは、財団法人 日本システム開発研究所に委託し、実施した。